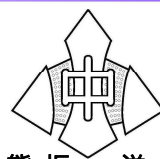


- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年7月20日(月)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

手をたずさえて

教職員からのメッセージ No.3

「教職員からのメッセージ」の最後を飾るのは、第4学年の教職員です。第4学年とは、校長、教頭、教務主任、養護教諭、そして、学校の縁の下での力持ち的な働きをしている主査、用務員、学校司書、給食配膳員、さらには、友垣1・2の生徒達がお世話になっている特別支援教育補助員、学校生活支援員、1・2年の技術の指導にあたるスーパーティーチャーなど、第1・2・3学年以外の教職員のことです。

4学年

～言葉にして表現するというのは、目標に近づく一つの方法～

この言葉は、イチロー選手の引退会見での発言です。イチロー選手は、50歳まで現役を続けると公言していました。実際45歳での引退でしたから、50歳まで現役ということはかなえることはできませんでした。しかし、言葉に出してきたからこそここまでがんばることができたんだと言っていました。イチロー選手は、最後マリナーズに移籍しますが、出場機会はぐっと少なくなっていました。それでもいつでも出場できるようにコンディションを整え続けていました。それはとても苦しい時間だったと思います。イチロー選手は、数々の記録を打ち立てていますが、それよりもその苦しい時間を懸命にやりきったことこそが、誇りであるということも発言しています。やりきる気持ちを支えたのは、自分が50歳まで現役を続けると言葉にして言い続けてきたことだったと思います。みなさんもイチロー選手のように目標に少しでも近づけるよう、になりたい自分や将来の目標など家族や友達に言葉で伝えてみてはどうでしょうか。



(教頭 芳賀勝栄)

3つの自己管理

①『健康』の管理

体調をくずしてしまうと、同時にやる気を失ってしまいます。ケガをしてしまっても同じです。自ら進んで体調をくずす人はいませんが、心身共に健康であることは生活する上でとても大切なことです。疲れたときは早めに休んで、心身のケアを心がけましょう。

②『時間』の管理

時間は使い方によって大きな差が出るものです。やることがたくさんあって時間がないと思う時ほど、効率よく事が進むときもあります。部活動で勉強時間が十分に確保できなかった時ほど、集中力でカバーできたりもします。時間をどのように使うかを考えながら生活してみましょう。まだまだ時間を無駄づかいしていませんか。もう一度考えてみてください。

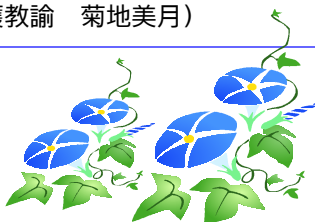
③『環境』の管理

チーム全員が目の前の試合に集中して、勝利をめざして頑張った経験を思い出してください。友達と一緒に楽しく遊んだ時を振り返ってみましょう。私たちは、同じ志をもった仲間がいることで、自分の力を最大限に発揮することができます。お互い助け合いながら、一步一步前進していきましょう。(教務主任 伊藤信孝)

新型コロナウイルスにより学校生活がいろいろ制限される中、それでもみなさんが元気に明るく、前向きに毎日過ごしている姿にこちらが元気をもらっています。ですが、つらく悲しい気持ちも大きいかと思います。そんな時は我慢せずに周りの人に自分の気持ちを話してくださいね！1日も早く元の生活に戻れますように…。まだ大変な時期ですが、みんなで助け合いながら乗り越えましょう！(養護教諭 菊地美月)



負けないでください
病気に いじめに
悪い誘惑に
くじけそうな自分に



社会に出たら自分で自分を律しなければいけません
今はその練習期間です
なにかあったら、相談してください (主査 星野人美)





「不来方のお城の草に 寝ころびて
空に吸はれし 十五の心」 石川啄木
充実した中学校生活をおくってください。(特別支援教育補助員 佐久間恵子)



学校生活支援員として勤務するようになって3ヶ月が経ちました。木のぬくもりを感じる明るい校舎、元気にあいさつしてくれる生徒のみなさん…小原田中にはいつも心地よい風が吹いています。今はいろいろな事に制限があったり、自粛生活が続いているけど、夢や希望に制限はありません。いつか実現できる事を祈っています。あきらめずがんばりましょう。
(P.S 私の夢と希望: 早くライブ参戦(福山雅治♥)と海外旅行ができますよーに!! その前に宝くじ当たりますよーに!!) (学校生活支援員 渡邊尚子)



「読書は心の栄養」と言われます。
読書は、ことばや心を豊かにし、多くの知識を身につけ、自ら考える力を高めることができ、想像力を豊かにしてくれます。体の成長は止まっても、心は無限大に成長することが出来ます。読書をすることで、心の成長が加速するそうです。学校が再開して、勉強や部活動で忙しく、本を読む時間がなかなか取れないかもしれませんが、読書は読解力を高めることが出来ます。読解力は勉強にもとても役立ちます。小原田中学校の図書館には、たくさんの良い本があります。ぜひ図書館に来て、いろいろな本の中から自分に合う本を見つけ、読書に挑戦し、読書の楽しさを知ってください。そして、少しの時間でも「読書をする」習慣を身につけ、続けていってください。(学校司書 鈴木幹子)

『他を律する基準で自らをも律する』

(他者に求める行動基準と同一の基準で自分も行動する)

人に禁じておいて自分だけはやるという、ダブルスタンダードを何の疑いもなくやっている人をたまに見かけますが、誠に見苦しく、どんなに社会的地位が高い人だろうと軽蔑の念しか湧きません。人に後ろ指をさされず堂々と生きる道の第一歩として、上記のことを心がけていきたいものです。このような人が増えれば、世の中の矛盾や不正も減って、住みやすくなりますし、何より自分自身が清々しく生きていけると思います。(用務員 古田康英)



「豊かな心」

他人の喜びや苦しみをわかってあげる気持ちが自分の心を豊かにする。私は、いつもそう思って生活しています。物の豊かなこの時代、自分を満たすことは簡単にできます。でも、他人を思いやることはなかなか難しいものです。気持ちを落ち着けて相手と同じ立場になったときのことを考えてみてください。きっとわかってあげることができると思います。親や周りの大人たちの熱い期待に育てられながら、感性豊かなものの考え方、扱い方を身につけて大人へのステップとしてください。
成長を楽しみにしています。(配膳員 濱津たか子)



ジャングルで樹上生活をしていたサルが地上において、二足歩行ができるようになり、脳が背骨と足で垂直に支えられるようになって、脳が大きく発達できる条件が整いました。手を使って道具を作り、武器を工夫して急速に脳が発達していきました。二足歩行がサルからヒトになる大きな転換期だったのです。赤ちゃんがハイハイから伝え歩き、ヨチヨチ歩きができるのとたくさんの知識を身につけます。それらの知識と身につけた体力をもとに中学校の学習活動が成立します。学習内容が本当に自分のものとして身につけているのか、不安だったり、自信がなかったりすることもあるでしょう。今すぐに役立つ知識なんて少ないと思います。それでいいんです。桃栗3年柿8年といいます。幹がしっかり成長しないと実是不会つけます。柚子は9年で花が咲くといわれます。花が咲いて実るまでそれなりの準備が必要です。人によって個性があるように、花が咲くまでの時間もバラバラです。じっくり時間をかけて咲かせた柚子の花はとてもきれいです。皆さんも今学んでいることは、将来必ず花を咲かせる日が来ることを信じて、たくさんのことを学んでいってください。(スーパーティーチャー 青木勝夫)

私の机上には相田みつをさんのこんなことばが飾られています。

“いまここじぶん その合計がじぶんの一生”

こんな時だからこそ、“中学生としての今”“小原田中での学びや生活”“そこいる自分”を大切にしてください。今の積み重ねが未来に繋がります。(校長 熊坂 洋)

